

莊園遺跡

ひねのしよう  
日根莊ガイドブック



現代の暮らしの中に中世の景観が色濃く残る

# 国史跡 日根荘遺跡

奈良時代から戦国時代にかけて、貴族や寺社が領主となって田畑を開拓した「荘園」と呼ばれる土地がありました。

日根荘は、大阪府泉佐野市に広がる中世の荘園遺跡。公家の中でもエリートといえる名家、九条家の領地であったこの荘園は、1234年(天福2年)に立荘されました。宮内庁所蔵の『九条家文書』を中心に当時の様子を伝える文書が数多く残されており、寺社堂をはじめとした建築物、ため池や丘陵などの景観が、中世からほとんど変わらない状態で現存している全国的にも貴重な荘園遺跡です。

この歴史の景観を構成するものの中から、16力所が(平成27年8月現在)国史跡に指定されています。

## 国史跡日根荘遺跡指定地

名称	所在地
1 日根神社	日根野(東上)
2 慈眼院	日根野(東上)
3 総福寺	日根野(久ノ木)
4 新道出牛神	日根野(新道出)
5 野々宮跡	日根野(久ノ木)
6 十二谷池	日根野
7 八重治池	日根野
8 尼津池	日根野
9 井川	日根野
10 火走神社	大木(中大木)
11 円満寺	大木(下大木)
12 思沙門堂	大木(中大木)
13 蓮華寺	大木(上大木)
14 香積寺跡	大木(上大木)
15 長福寺跡	大木(下大木)
16 土丸・雨山城跡	土丸・熊取町

## 大阪府初！重要文化的景観に選定

# 日根荘大木の農村景観

泉佐野市大木地区は、和歌山県との境をなす和泉山脈の豊かな自然に恵まれ、山間部の盆地ならではの地形を活かした伝統的な農村景観が広がっています。『国史跡 日根荘遺跡』に指定された日根荘由来の寺社堂などにより、朗々と歴史が伝えられている地域です。その豊かな自然と中世荘園に由来する土地利用のあり方が評価され、平成25年10月17日、大木地区は大府初の『重要文化的景観』に選定されました。

文化的景観とは、人々が毎日の暮らしを通して自然と一緒に生きて作り上げてきた風景のこと。中でも特に重要であるのが選定された場所が、重要文化的景観となります。

## 重要な構成要素

文化的景観を構成するものの中で、特に重要なものを所有者の同意を得た上で「重要な構成要素」に設定します。「日根荘大木の農村景観」では、豊かな自然と日根荘由来の景観を構成する河川や農地、寺社堂、家屋、石積み、道などが設定されています。

## 受け継がれてきたもの

- 人が自然に関わることで守られてきた景観
- 気候風土に合わせて受け継がれてきた土地利用
- 暮らしの中に織り込まれている日根荘の歴史
- 文化的景観を守り受け継ぐ大木の伝統的な暮らし

## 大木地区に生息している生き物

- アカハライモリ ●アカザ ●コオイムシ ●ウキゴリ
- ヌمامツ ●ミヤマサナエ ●ルリボシヤマ
- ゲンジボタル ○オオシオカラトンボ ○カワムツ
- アカシジミ ○スジエビ ○ヨシノボリ

(●印：絶滅危惧種)



見て、歩いて、歴史を体感。時代による変容を遂げながらも、いにしえの人々の暮らしや景観が今なお受け継がれている日根荘。当たり前のように目の前にあるまちの景観の中には、いくつもの歴史の足跡が刻まれています。中世の歴史と照らし合わせながら、新たな視点で日根荘を見つめ直してみてください。



## 『日根野村絵図』

(宮内庁書陵部所蔵)

『日根野村絵図』は、中世の荘園の姿を今に伝える貴重な資料。1316年に描かれたこの絵図には、当時の様子が克明に記されています。日根野村絵図と現代の泉佐野市の地図を重ねてみると、主要な道や境内地、ため池が当時とほぼ変わらない姿を残していることがわかります。日根荘遺跡は、現代の景観に中世荘園の世界を感じられる、全国的にも貴重な場所といえます。

## 元関白

## 九条政基が残した史料



## 『政基公旅引付』

(宮内庁書陵部所蔵)

日根荘を語る上で欠かすことができない人物といえば、九条政基が挙げられます。1501年から約4年間にわたり家領である日根荘の直接支配を行うため、政基は大木に滞在。1467年の応仁の乱以降、守護方の横暴により経営が困難になっていた日根荘の再建を図ります。この期間に綴った日記『政基公旅引付』には、戦国時代の村の様子が克明に記されており、歴史的価値の高い貴重な資料とされています。

当時の資料が残っているなんてすごいよね!





### 07. 多宝塔

石山寺、高野山金剛三昧院の塔と並ぶ多宝塔の一つで、鎌倉時代に建立された小さな塔です。(泉佐野市では唯一の国宝です。)木像の持国天と多聞天を脇侍として多宝塔に安置されている本尊の大日如来坐像は、府指定の文化財です。



### 09. 大井関公園

日根神社に向かって右手にある入り口は大井関公園に続きます。公園中央にある「ろじ渓」は、大阪みどりの百選に選ばれています。岩や谷底の清流、周囲を取り巻く桜がすばらしい雰囲気を作り出しています。



毎年4月に「大井関桜まつり」が開催されているよ!

### 06. 慈眼院

天武天皇の発願により674年(白鳳2年)に開創されたと伝えられている慈眼院。数多くの堂宇が建ち並びましたが、南北朝の戦乱や秀吉の根来攻めによりほとんどが焼失し、多宝塔と金堂のみが残りました。



### 08. 金堂

多宝塔の隣にある金堂は重要文化財です。建築様式から鎌倉時代のもつと見られます。本尊は薬師如来像で、右に弘法大師、左に釈迦如来像が安置されています。金堂に納められた杉板に経文を写して束ねた法華経(こけら経)は市指定の文化財です。

重要文化財「金堂」周囲がけに覆われ、美しい雰囲気を楽しめます。

### CHECK POINT!

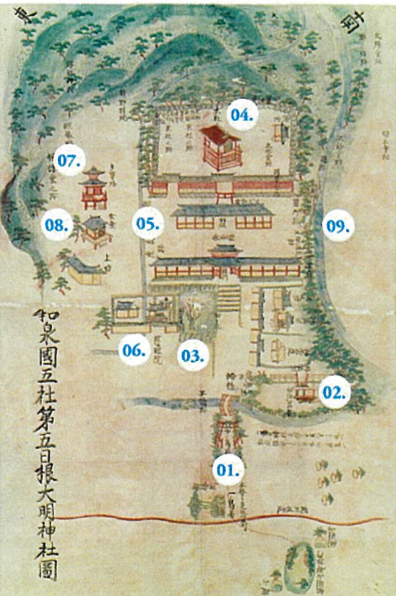
必見の冬景色! 雪の慈眼院。雪化粧した多宝塔はとても幻想的! 他にも初夏の新緑、秋の紅葉と四季折々の雰囲気を楽しめます。



拝観には予約が必要です!  
電話: 072-467-0092  
拝観料: ¥200

### 05. 井川

日根荘の開発に欠かせない水路。井川を挟んで隣接する慈眼院は日根神社の神宮寺でした。



『和泉国五社第五日根大明神社圖』文政12年(1829) (慈眼院所蔵)



### 日根神社

平安時代の式内社で、大井関大明神とも呼ばれています。

和泉国五社に数えられていた由緒ある社で、主神は鵜葺草不合命と玉依比売命です。

本殿は春日造で、摂社比売神社本殿とともに大阪府指定文化財となっています。



### 03. 姥桜

参道にみえる姥桜は慈眼院の府指定天然記念物!



### 04. 本殿

社殿は豊臣秀吉の根来攻めにより一度焼失しましたが、後に子の秀頼によって再建され、桃山時代の拘欄な姿を残しています。



### 02. 比売神社

もとは榎井川沿いの東上地区にあり、溝口大神と呼ばれる神社でした。日根神社に合祀され、1829年に現在の位置に移りました。日根野や上之郷の用水路と深い関わりがあります。



### 01. 参道

日根神社は縁結び・子授け・安産・安眠などのご利益があります。四季折々の顔を覗かせる長い参道を抜けると、拜殿が現れます。



春が楽しみだね!

田畑を潤し、恵みをもたらす神社だよ!



日根神社・慈眼院  
文化財・国宝の寺社を堪能  
井川を挟んで隣接する日根神社と慈眼院は、日根荘遺跡に数多く存在する寺社の中でも特に歴史的価値の高いもの。その圧倒的な存在感には、目を奪われるような魅力があります。



南海バス大鳴線「東上」下車

### まくらまつり

毎年5月4日・5日に行われる日根神社の春祭り。良縁や安産、豊作の願いが込められた華やかな飾りまくらを取り付けたのぼりが巡行します。その様子は他に類を見ないもので、長く継承されてきた祭りです。

### ゆ祭り

神事と五社音頭踊りにより、榎井川の水源確保と夏の災厄除けを祈願します。参道にはたくさんの屋台が並び、近在の人々が一堂に集まるにぎやかな夏祭りです。(毎年7月第3土曜日開催予定)



# 井川 のどかな水路沿いをお散歩

井川は、櫻井川から取水し、泉佐野市南部の丘陵の裾を流れる水路です。史跡や池が点在する井川沿いののどかな風景を楽しみながら、のんびり散歩してみましょう。



今も水路として使用しているってすごい!



南海バス犬鳴線「久の木」下車

## 井川

延長約 2.75km を高度差約 3m で流れるように高度な土木技術を駆使してつくられている井川。1761年成立の『日根野村水利絵図』に描かれている樋や分岐水路なども多数残り、現在でも日根野地区の主要な水路として機能しています。

### ✓CHECK POINT!

総福寺にある願掛け牛をなで、ご利益アップ!!



03.

### あまついけ 尼津池

日根荘成立時から存在したため池。近世の初期に大池が築かれるまでは日根荘村域で主役の池だったと言われています。



02.

### ののみやあと 野々宮跡

神社合祀により日根神社境内に移された野々宮神社の宮跡です。



01.

### そうふくじ 総福寺

南側にある天満宮は桃山時代の建築様式を残す一間社春日造の檜皮葺で、国の重要文化財に指定されています。



06.

### じゅうににいけ 十二谷池

日根野村の用水を束ねる親池。長い間大役を果たしてきた十二谷池は、他村の池にも送水しており、井川の最終地点です。



05.

### しんどううしがみ 新道出牛神

市内にある牛神の中で、最大の境内規模を誇っています。現在も近世に作られた石祠と石灯籠が残ります。



04.

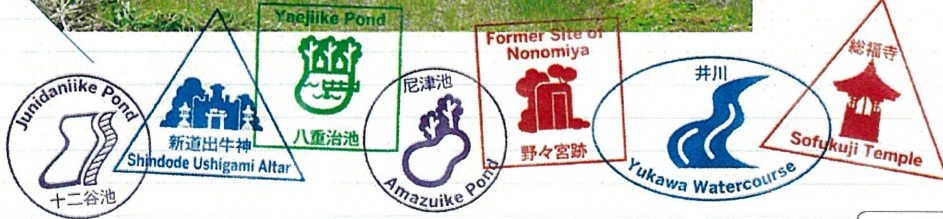
### やえじいけ 八重治池

日根荘成立時から存在しました。現在は大池・尼津池・十二谷池などと連結して水系を形成しています。



木の中に宮跡の石碑があります。天気がいいと気持ちいい!

土丸・雨山城跡をバックに、野々宮跡を望みます。



## 井川さんぽ道

井川は日根神社と慈眼院の境内を流れて、十二谷池まで続くんだよね。



井川取水口



尼津池からの水路と合流点

井川に沿って歩いてみよう!

十二谷池への入水

こゝ、十二谷池がゴールです!

日根神社境内の井川

慈眼院境内の井川

中世の暮らしに思いを馳せる

日根荘の時代には入山田村と呼ばれていた大木地区。ここは中世にまでさかのぼって歴史の変遷をたどれる貴重な地域。九条政基が滞在して綴った『政基公旅引付』の舞台でもあります。



南海バス鳴鶴線「中大木」下車

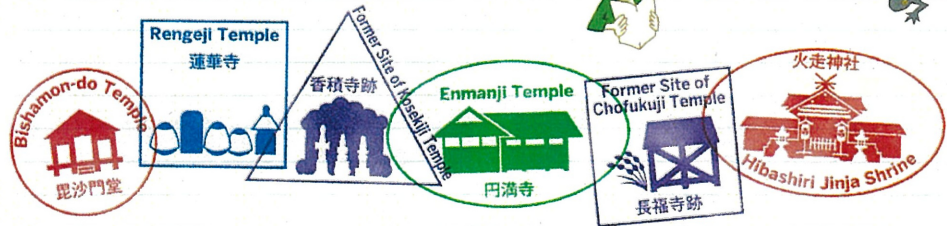
『大木村絵図』は絵画的要素が色濃く、美術品としての価値も備えた非常に珍しい村絵図です。江戸時代後期に作成されたものと考えられており、絵図に描かれた景観を今に残す大木地区は大阪府初の国の「重要文化的景観」に選定されています。『政基公旅引付』の舞台でもある大木地区。中世から受け継がれた貴重な景観を次世代へ受け継いでいきたいものです。



泉佐野市指定文化財  
『大鳴山七宝淵寺並びに大木村絵図』  
(火走神社所蔵)



円満寺の近くの水路には  
絶滅危惧種の  
アカハライモリが生息!



火走神社

日根荘入山田村の中心の神社。  
中世には雨乞いや芸能が行われていました。  
秋の担いだんじり行事と火走神社本殿は市指定文化財に、  
本殿の右側に建てられている摂社幸神社本殿は国の  
重要文化財に指定されています。

CHECK POINT!

四季折々の顔を見せる棚田風景は  
要チェック!秋には彼岸花と稲穂が  
鮮やかなコントラストをなします。



大木小学校の  
本造校舎は  
一見の価値あり!



恩随橋と榎井川

橋からは中世より受け継がれてきた水路と榎井川を見下ろせます。榎井川は大鳴山までの二瀬川と大鳴川の合流を起点とし、大阪湾へ注ぎます。



蓮華寺とマゼのひじ岩

蓮華寺を奥へと進むと、大木地区に数多く伝わる民話「マゼのじいさん」にある一説『マゼとひじ岩』に登場する石垣が現れます。ひじを当てて民話を再現!

自分の手をあてて  
大きさ比べをしよう!



石積みと  
昔比べも!

私有地もありますので  
撮影にはお気を付け下さい。

03.



玉ねぎ小屋の  
屋根は杉皮葺き!

長福寺跡

九条政基が滞在したという長福寺の跡地。現在は稲作が行われています。玉ねぎ小屋の屋根は珍しい杉皮葺き!



大木富士

大木小学校の前から、田んぼに囲まれた一本道が続きます。しばらく進むと大木富士を望めます。



毘沙門堂

この堂のある谷筋は五所谷(御所谷)と呼ばれ、南朝の後村上天皇の仮御所があったという伝承が残ります。



担いだんじり

10月初旬に上大木・中大木・下大木の3つの町会で執り行われる火走神社の秋の例祭です。かつては泉南各地で見られた「担いだんじり」ですが、現在に残っているのはこの地域だけ。古来より伝わる人々の力強い想いを確実に受け継ぐ、地域色豊かなまつりです。



担いだんじりなんだよー!  
すっごく重そう!!  
近づくと迫力満点★



東ノ池と香積寺跡

上大木の集落が一望できます。棚田はまさに人と自然が織りなす美景。見た者の心を中世へと誘います。山を進むと香積寺跡を発見!



水間道と石積みと水路

水間道を進み、四足橋を渡ると青々とした苔が茂る石積みと水路があります。涼やかで幻想的な空間を体験!

05.



円満寺

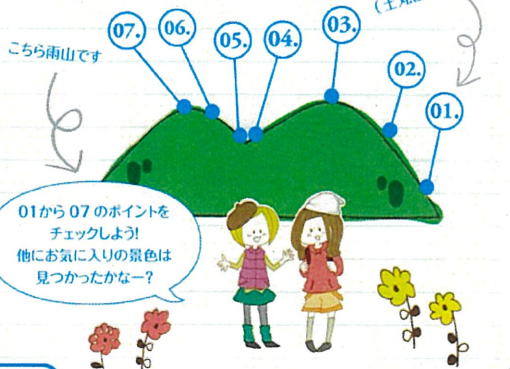
1503年、人々が円満寺に集まり般若心経一万巻を購読して祈祷し、一万度参りをしたそうです。現在は下大木地区の集会所になっています。

## 土丸・雨山城ってどんな城？

城ノ山（土丸山）と雨山の2つの頂上付近にあり、南北朝のころに築かれたものと思われます。紀州と和泉を結ぶ往還道に位置し、戦略上重要な土地であったこの城では、楠木正勝や山名義理、橋本正督など、有名な武将が活躍しています。今も山上には曲輪、堀切、武者かくしなどが残されています。



## 土丸・雨山城跡



天守閣を持つ城じゃないんだね!

なるほどね!

01から07のポイントをチェックしよう! 他にお気に入りの景色は見つかったかな?

飛行機雲と農村景観とのコントラストが素敵。

### ✓CHECK POINT!

山頂から見える朝焼けは息を飲む美しさ! 早朝の登山もおすすめです。

これが土丸・雨山城跡です! とってもきれいです!

自然の植物にも注目してね!

シャッターポイントがいっぱいだね!



### 雨山山頂 07.

雨山神社跡の前には大きなヤマモモの木が! 雨山の山頂に力強く根を張るその姿は圧巻です。



## 自然の地形に溶け込む山城へ

土丸・雨山城は、自然の地形を利用した防御用の要塞としての役割を果たしていた山城。山頂の城跡は、大阪の街や海を一望できる展望スポットとしても知られています。

### 土丸・雨山城跡

大阪府と和歌山県の境、熊取町成合の雨山(312m)と泉佐野市土丸の城ノ山(土丸山、287m)の連山に、中世には土丸・雨山城がありました。

紀州と和泉を結ぶ粉河街道、河内へ抜ける水間道、大木道、御幸道など主要街道の結節部に位置しており、和泉を代表する中世の山城でした。



南海バス犬鳴線「土丸」下車



### 鳥居とほころ 03.

城ノ山の山頂には、鳥居とほころ、石碑などがあります。



### 土丸に登る 02.

振り返ると海が...! 天気があれば関西国際空港も見ることができます。いろんな景色を眺望できるのが登山の醍醐味!



### スタート! 01.

樫井川に架かる新前川橋の東側を歩いて阪和自動車道の下を潜り、登山スタート!



### 井戸跡 06.

山城の自炊井戸だったと言われる井戸跡です。土丸と雨山の谷筋にあります。



### 大木の集落 05.

頂から眺望する大木の集落は疲れを吹き飛ばす絶景。中世から熟成された文化的景観をひとりじめ。



### 分岐点 04.

しばらく進むと分岐点があります。雨山に向かう道標に沿って左の道を進みます。

犬鳴山七宝瀧寺 修験道体験もできる!

霊場の美しい渓谷で、心清める

修験道の霊場である犬鳴山。

日本古来の樹木が茂る犬鳴山、犬鳴渓谷には大小48の滝があります。四季折々に姿を変える

雄大な自然の中で、心静かな時間を過ごしてみませんか。



南海バス犬鳴線「犬鳴山」下車



### 犬鳴山温泉

府内唯一の温泉地! 純重曹泉で美肌作用や神経痛に効果があります。どの宿も日帰り入浴可。



窓の向こうには緑豊かな犬鳴山。「み奈美亭」日帰り入浴料 ¥900

### 犬鳴山七宝瀧寺

犬鳴山は修験道の霊場であり、大和の大峰山より6年先に開山しました。全国でも有数の行者が今も修行に集まり、行者の滝では滝に打たれる修験者の姿が見られます。特に犬鳴山は女人大峰とも言われ、女性の行者も多く修行されています。



温泉の前に犬鳴山へ行ってみよー!



### 二の橋

歴史をうかがわせる木橋。ゆるやかに流れる犬鳴川のせせらぎに耳を傾けてみませんか?

自然に癒されるー!



### 両界の滝

犬鳴山第一の滝と言われていきます。あたりの遊歩道が階段になっているので滝を上から見下ろす事もできます。



### 瑞瀧門

参道を半分ほど進んだところに位置します。行者迎への門とも呼ばれています。



### 杉の大木群

直径1mほどの大木は迫力満点! 幻想的な雰囲気にも魅了されます。



### 塔の滝

犬鳴山深谷七つの滝の中でも名高い塔の滝。紅葉垂れるその空間は四季折々の情緒があります。



### 身代わり不動前

休憩スポットとしても利用される広場。迫力満点の身代わり不動明王や、七福神堂など見所満載! 行者の瀧まであと一息!

## 行者の瀧と瀧修行

犬鳴山七宝瀧寺内にある「行者の瀧」は、歴史に名を残す弘法大師など、日本の仏教に大きく貢献した人物が修行された場所です。普段では修験先達にまじり女性修行者の姿もよく見られ、毎年大寒に入る1月末頃には百「靈行」を行なう修行者もいます。「靈力ある御瀧」として有名なこの場所で修行を体験してみよう!

女性の参加者も多くなってきました



七宝瀧寺では毎月第3日曜日に1日修験道体験が行われています。

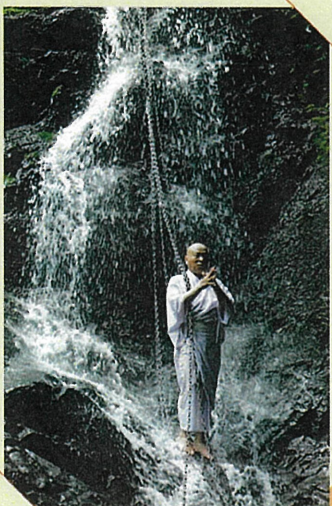
犬鳴山修験大先達による指導のもと、犬鳴山の行場や拝所回廊、行者の瀧での瀧修行などの修行を体験できます。本格的な修行体験をしてみたい! という方は是非!

※体験には事前予約が必要です。1週間前までに犬鳴山七宝瀧寺本堂までご連絡下さい。電話 / 072-459-7101 参加費 / ¥2,000 <http://www.inunakisan.jp>

12月から2月の冬はお休みです



1



4



2



ホームページもチェックしてね!

3



1

護摩壇の正面に鎮座する身代わり不動前での動行。先達が吹き鳴らす法螺貝、般若心経は心の奥底に響きます。

2

本堂に移動し護摩祈祷が行われます。暗い本堂の中心で燃え上がる炎は静閑ながらも迫力があります。

3

犬鳴山に入峰し、山修行が始まります。山行場には表行場と裏行場があり、一日修験道体験にも組み込まれている修行です。(裏行場は11月のみ)

4

瀧衣をまとい、入瀧します。瀧に打たれながら般若心経を唱え、心身を清めます。

むかしむかし、猟師が愛犬を連れて山へ出かけたときのこと。一頭の大鹿に猟師が狙いを定めたとき、愛犬が突然吠えだして鹿が逃げ出してしまう。せっかくの獲物を取り逃がした猟師は、怒って愛犬の首をはねてしまいます。すると愛犬の首は空中に跳ね上がり、猟師の頭上の木にいた大蛇をかみ殺して息絶えました。愛犬が吠えたのは、猟師を呑み込もうと狙っていた大蛇の存在を知らせるためだったのです。これを知った猟師は愛犬を手厚く葬り、自分の行いを悔いて七宝瀧寺で僧となり、後に不動堂を寄進しました。この話は都の帝にまで伝わり、「犬鳴山」の称号が与えられたといわれます。

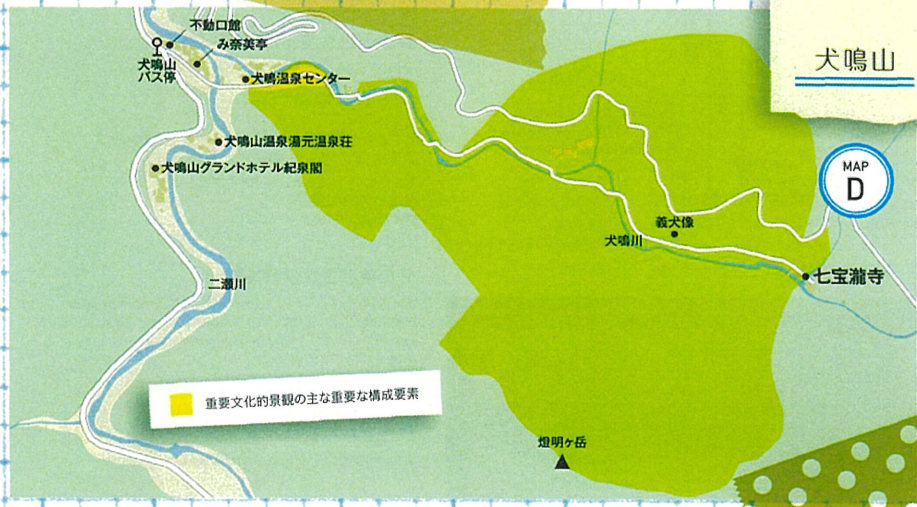
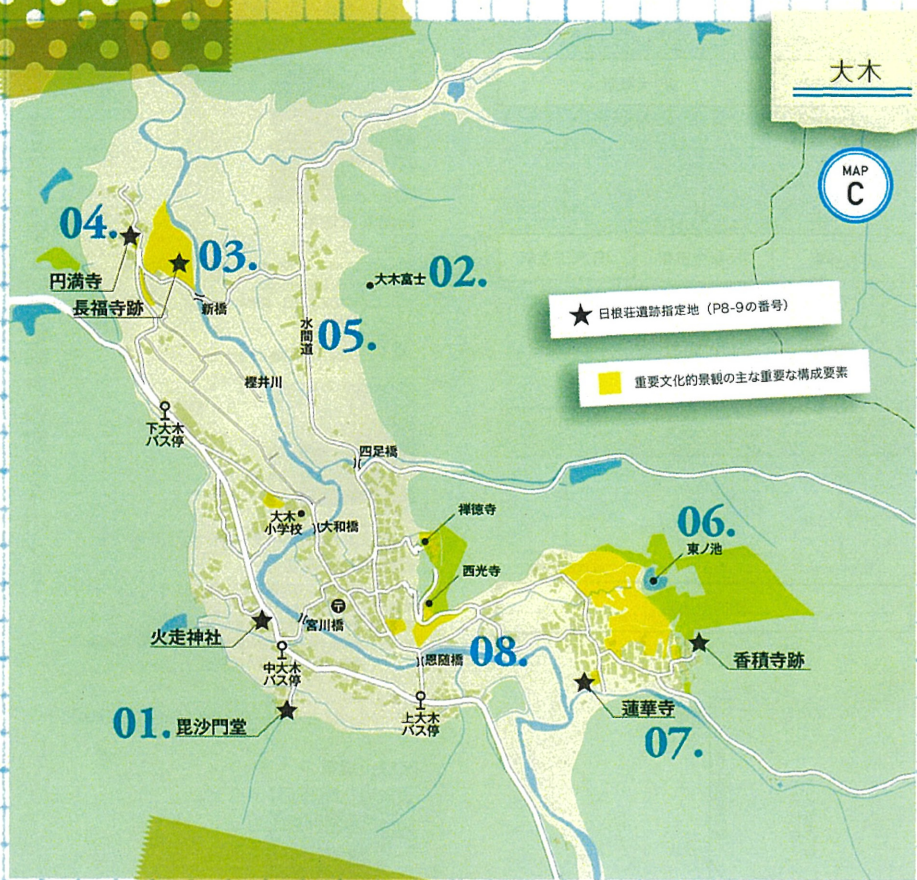


犬鳴山の名の由来となる 義犬伝説

### CHECK POINT!

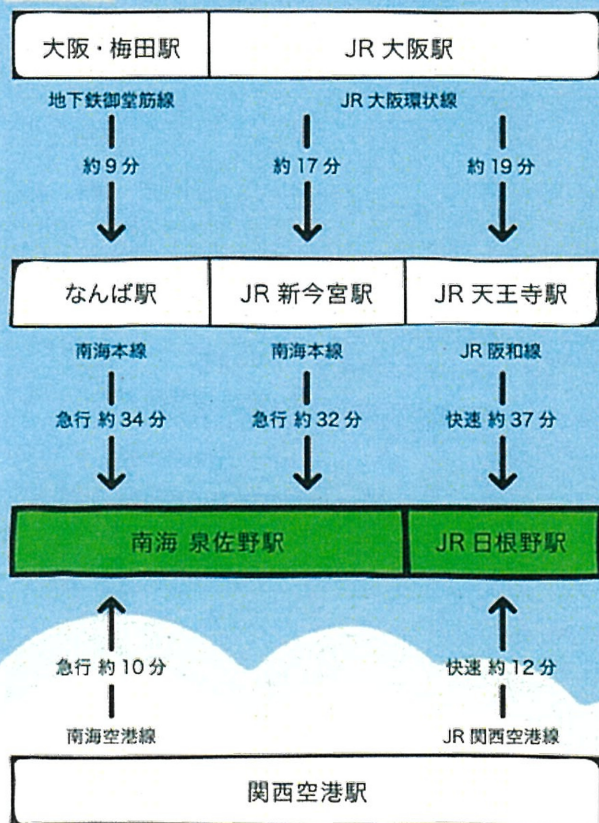
山名に由来する「義犬伝説」に登場する義犬の墓。最上部に鎮座する義犬の石像は伝説を彷彿させる精悍な表情!



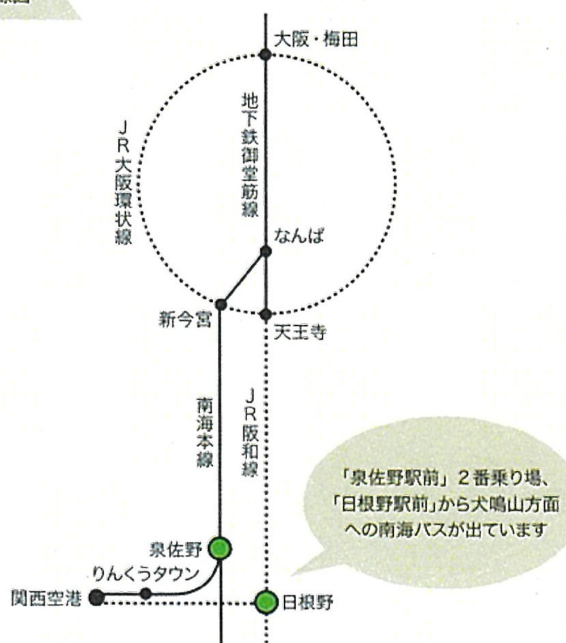




アクセス



路線図



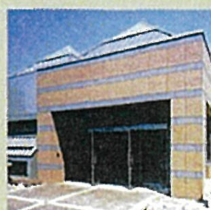
荘園遺跡 日根荘ガイドブック

発行：泉佐野市教育委員会教育総務課  
〒598-8550 大阪府泉佐野市市場東1丁目295-3  
TEL 072-463-1212(代)  
http://www.city.izumisano.lg.jp  
発行月：平成27年8月



旧向井家住宅

〒598-0022 泉佐野市土丸904  
電話/072-463-1212 (泉佐野市役所 教育総務課)  
開館時間/10:00~16:00  
休館日/月曜日・木曜日・年末年始  
入館料/無料  
駐車場/あり  
南海バス犬鳴線「水呑地藏」下車すぐ



レイクアルスタープラザ・カワサキ  
歴史館いずみさの

〒598-0005 泉佐野市市場東1丁目295-1  
電話/072-469-7140  
開館時間/9:00~17:00 (入館は16:30まで)  
休館日/月曜日 (祝日の場合は開館し、直近の開館日は閉館)、  
年末・年始、展示替え期間  
入館料/無料  
駐車場/あり  
いずみさのコミュニティバス中回り「総合文化センター」下車徒歩2分

犬鳴山温泉



犬鳴山温泉湯元温泉荘

〒598-0023 泉佐野市大木2234  
電話/072-459-7015  
宿泊料金/¥15,000~¥30,000  
駐車場/あり  
南海本線「泉佐野駅」もしくは、JR 阪和線「日根野駅」より  
南海バスに乗り換え「犬鳴山」下車 徒歩3分  
■日帰り施設「山乃湯」のみ利用の場合  
電話/072-459-7515  
営業時間/10:00~18:00  
入浴料/大人 ¥700 小学生以下 ¥300

その他の主な温泉施設

犬鳴温泉センター <http://www.inunaki-onsencenter.co.jp>  
不動口館 <http://www.fudouguchikan.com>  
み奈美亭 <http://www.minamitei.com>  
犬鳴山グランドホテル紀泉閣  
<http://www.kisenkaku.co.jp>

泉佐野市観光サイト

泉佐野市観光協会 <http://www.kankou-izumisano.jp>

まだまだあります、泉佐野市の観光スポット！